

INPEA 日本国会員各位殿

大変御無沙汰いたしておりますが、皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察申し上げます。

さて、INPEA（国際高齢者虐待防止ネットワーク）の活動は世界会長リア・ダイチマン氏（アルゼンチン）を中心に大きく発展してきております。本日は、そのINPEAの活動のダイジェスト版を送付させていただきます。

1. 【昨年11月に開催されたGSA（米国老年学会）】

毎年1回11月に行われる米国老年学会（GSA）は、昨年は、首都ワシントンD.C.で開催されました。そのGSAで毎年行われております、高齢者虐待に関するInterest groupの会合である、“Interest Group on the Elder Abuse, Neglect, and Exploitation”に、私（塚田）も参加してきました。過去3回連続して参加しておりますが、一昨年、昨年というように年を追う毎に、参加者の数が増えてきています。一昨年は、10名～15名でしたが、昨年は、最多時で25名（平均20名）の人たちが1時間半、熱心に活動報告をされました。昨年のINPEA会員の入会申込書にご紹介しましたが、INPEAは2003年6月に国際連合の助言機関として承認されました。益々の活動が期待されます。以下は、昨年開催されたGSAでの高齢者虐待に関するInterest groupの会合の写真（2枚）です。



<INPEA アジア地域代表多々良氏（中央手前）をセッションチェアとしての会合>

このGSAの会合でのハイライトは、何と云っても、来年2006年に、アメリカのマiami市（フロリダ州）で、“International Conference on Elder Abuse”（仮称：国際高齢者虐待学会）が開催されるという世界会長からのアナウンスでしょう。皆様の日ごろの実践・研究をぜひ学会で共有されませんか？ また、できるだけ多く参加して高齢者虐待の国際学

会を盛り上げることができるよう、今からぜひ、来年度の御研究・活動計画の中に入れていただけますと幸いです。学会の詳細がわかりましたら、できるだけ早くお知らせいたしますので、ぜひ声をかけあって参加できれば、と願っております。



<左から 2 番目が INPEA 世界副会長エリザベス・ポドニクス氏、中央左が INPEA の世界会長リア・ダイチマン氏、および中央右が INPEA 事務局長スーザン・ソマーズ氏>

2. 【2004 年 11 月に開催された GSA（米国老年学会）で日本からの発表】

淑徳大学社会学部教授多々良紀夫先生（INPEA アジア地域会長）が、“Findings of Japan’s First Nationwide Study of Domestic Elder Abuse along with their Public Policy Implications”という題目で、厚生労働省が実施した全国家庭内高齢者虐待に関する調査について、そして、日本の高齢者虐待防止に関する立法の動きについて口頭発表されました。

3. 【今年 6 月にブラジルで開催される World Congress of Gerontology】

来る 6 月 26 日（日）～30 日（木）の 5 日間、ブラジル共和国リオ・デジャネイロ市で、世界老年学会が開催される予定です。私も参加して Elder Abuse の会合に参加してまいりたいと思います。また、帰国いたしましたら、（早いうちに）ご報告させていただきます。本学会に興味がおありの方は、URL：<http://www.gerontology2005.org.br/>をご覧ください。

4. 【来年 6 月 15 日は World Elder Abuse Awareness Day（仮称：世界高齢者虐待を 考える日）】（詳細は <http://www.inpea.net/downloads/WorldAwarenessDay.pdf>）

来年 6 月 15 日の「世界高齢者虐待を考える日」に向けて、上で紹介致しました来月開催の World Congress of Gerontology で、各種イベントが開催されるということです。これも合わせて参加し、皆様にご報告できたらと思っております。

INPEA（国際高齢者虐待防止ネットワーク：URLは <http://www.inpea.net/>）への入会は無料です。皆様の同僚・友人をどうぞご紹介ください。それでは、末筆ではございますが、皆様の益々のご健康とご成功を心よりお祈り申し上げます。

INPEA 日本国事務局 塚田 典子
日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科
ntsukada@gsb.nihon-u.ac.jp